

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	13-	8
事業名	都市計画経費	
	会計	款
	一般	8
		4
		1
施策	1	安全・安心なまち
	1-2	住みやすいまちをつくる
	1-2-1	市街地・居住環境の整備
主要施策		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員町	目的 (対象がどのような状態になっているか)	土地利用や都市施設などを適切に定めることで、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進する。
事業内容	都市計画マスタープランの推進を図り、計画的な都市整備を図る。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年 (目標)	
	1								
2									
3									
4									
5									
			平成29年度 (決算)		平成30年度 (決算)		平成31年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					5,708	10,024	2,910		
財源内訳	直接事業費 A				5,708	4,084	204		
	うち一般財源				5,695	4,071	204		
人件費 (千円) B					0	5,940	2,706		
内訳	一般職員 (人・千円)				0	0.9	5940	0.41	2706
	臨時職員 (人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	新たな「まちづくり」が効果的・効率的に実施できるよう、都市計画法等の規制緩和を関係機関に働きかける。
②H30年度に実施した取り組み	都市計画マスタープランの推進を図り、計画的な都市整備を図った。	④今後の改善計画	長期間事業化していない街路等の見直しを検討する。